

貯 法：室温保存  
有効期間：3年

承認番号	15500AMZ00603000
販売開始	1981年8月

## 漢方製剤

## 本草五苓散顆粒－R

## 3. 組成・性状

## 3.1 組成

販 売 名	本草五苓散顆粒－R
有効成分	本品5.0g中（2包中） 日局タクシヤ末……0.8g 日局ブクリョウ末……0.6g 日局ソウジュツ末……0.6g 日局ケイヒ末……0.4g 日局チヨレイ末……0.6g を含有する。
添 加 剤	乳糖水和物、カルメロースカルシウム、メタケイ酸アルミン酸マグネシウム

## 3.2 製剤の性状

剤 形	顆粒剤
色 調	淡かつ色
識別コード	H17
に お い	特異なおい
味	わずかに甘く、後に苦い

## 4. 効能又は効果

のどが渴いて、尿量が少なく、はき気、嘔吐、腹痛、頭痛、むくみなどのいずれかを伴う次の諸症：

水瀉性下痢、急性胃腸炎（しぶり腹のものには使用しないこと）、暑気あたり、頭痛、むくみ

## 6. 用法及び用量

通常大人は1日5.0gを1日2回に分けて食前に経口投与する。  
なお、年齢・症状により適宜増減する。

## 8. 重要な基本的注意

8.1 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。

8.2 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

## 9. 特定の背景を有する患者に関する注意

## 9.5 妊婦

妊婦又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

## 9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

## 9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

## 9.8 高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

## 11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

## 11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	発疹、発赤、痒痒等
肝臓	肝機能異常（AST、ALT、 $\gamma$ -GTP等の上昇）

## 20. 取扱い上の注意

20.1 本剤の品質を保つため、できるだけ湿気を避け、直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。

20.2 開封後は特に湿気を避け、取扱いに注意すること。

20.3 本剤は生薬を原料としているので、色調等が異なることがある。

## 22. 包装

150g（2.5g×60包）[分包]

## 24. 文献請求先及び問い合わせ先

本草製薬株式会社 学術部  
〒468-0046 名古屋市天白区古川町125番地  
TEL 052-892-1287 FAX 052-895-4928

## 26. 製造販売業者等

## 26.1 製造販売元

本草製薬株式会社  
名古屋市天白区古川町125番地